



東京考察

令和6年3月16日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

欲望が渦巻く社会は、その都市の許容する現実と自由において、人々は、欲望を彷徨う。

多様な現実の魅力は、都市生活が富と貧困のコントラストともに、拡大する多様な自己の習合において、その魅力と地獄を与えるものである。

経済は富を集約し、都市の頂点を得る。富に群がる人々は、都市を彷徨うのである。

首都として、全ての集まることは、国家の頂点において都市が存在し、国際性ととともに、新しい自己を生み出すものである。

人々の生活は都市に収束する。

その多様性の許容は都市の現実と真実であり、それらが若者を奪うのである。

欲望は都市を進す原動力であり、それらは富と欲望における現実を与えるものである。

これらは都市が許容する生活と自己は、自己の自立における現実と社会を与え、その魅力は、都市における生活の魅力と苦しみを与えるものなのである。

雑然とした秩序は、人々の高い倫理的な自己の証明であり、これらが新しい可能性を与えるものなのである。

そして富は全てを可能とする。これは富に群がる人々の真実である。

社会はそのヒエラルキーを形成し、全ての段階における自己の現実は都市において相違し許容される。

多様性と進歩は、さらなる未来を要求し、秩序を得ない現実は、その全ての表現を許容するものである。

